



# YOKOMO RZ

1/12 SCALE EP 2WD COMPETITION CAR CHASSIS KIT

WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CAR

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。  
本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことが出来ます。

Thank you for purchasing this Yokomo product. This high performance competition kit has been proudly manufactured by Yokomo - World Champion R/C car manufacturer.  
Proper assembly of this product will provide fun, safe enjoyment.

## R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様(中学生以下)が組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

### 組立の注意

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属バーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないよう注意して下さい。
- プラスティックバーツなどを切断する際は、切断した部品が飛び危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

### 走行の注意

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サークットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で走らせて下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。バッテリーを接続した後は危険ですので、回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーは各部が高温になる事があります。危険ですので冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。

### 走らせる手順

- ① タイヤが空転する様に、台の上にR/Cカーを置きます。
- ② スピードコントローラのスイッチがOFFになっている事を確認してから、モーターとバッテリーを接続します。
- ③ 送信機のアンテナを伸ばし、スイッチをONにします。(送信機の電圧が下がっていると危険です。常に電圧の高い状態で使用して下さい。)
- ④ 受信機のスイッチをONにします。

### 走行終了手順

- ① スピードコントローラのスイッチをOFFにします。
- ② バッテリーの接続を外します。
- ③ 送信機のスイッチをOFFにし、アンテナを縮めます。

### バッテリーの取り扱い

- (バッテリーに付属の説明書に基づき使用して下さい。)
- バッテリーを充電する際は、周囲に燃えやすい物のない安全な場所で行って下さい。又、高温な場所での充電も避けて下さい。
  - バッテリーの充電中は充電状況を常に確認して下さい。充電器の誤動作などで過充電すると、最悪の場合は発火する危険性があります。バッテリー温度が50度を越えたら充電を中止して下さい。
  - 走行後のバッテリーは高い温度になります。連続使用するとバッテリーを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから充電して下さい。又、走行後のバッテリーはコンディション放電する事によって、性能を持続させる事が出来ます。
  - 不要になったバッテリーは一般的ゴミと一緒に捨てずに、お手数でも電池専用の回収箱に捨てて下さい。

### モーターの取り扱い

- (モーターに付属の説明書に基づき使用して下さい。)
- 7.2Vのバッテリーでモーターのから回しをすると危険です。モーター内部を破損し部品が飛び出す事も考えられますので、もしモーターのブレーキインをする時は、モーターをしっかりと固定し3~5V程度でから回して下さい。
  - モーターは定期的なメンテナンスが必要です。劣化するとスピードが出なくなったり、走行時間が短くなります。定期的にクリーニングしたり、ブラシが減ってきたら交換する等のメンテナンスをして下さい。
  - モーターの性能に合ったギヤ比を選択して下さい。ギヤ比が最適でないとモーターの性能を十分に発揮出来ないだけでなく、他のR/Cメカを壊す原因になります。
  - 走行後のモーターは非常に高い温度になります。連続走行するとモーターを傷める事になりますので、冷却期間を置いてから走行して下さい。

## PRECAUTIONS FOR SAFE ENJOYMENT OF YOUR R/C CAR

For children under the age of 13, parental guidance is recommended when running.

### ASSEMBLY PRECAUTIONS

- Do not assemble around small children. The parts can be dangerous if accidentally swallowed.
- Check the contents carefully before assembly. Please contact Customer Support if you happen to notice any defective or missing items.
- You will find the assembly process much easier by carefully reading through the manual, and familiarizing yourself with the instructions.
- Many different tools are required during assembly. For safety purposes, please use suitable tools. Exercise extra caution when using a sharp tool such as a hobby knife.
- Many different materials are used for the parts. Use extra care when handling parts with sharp edges, such as machined metal parts.
- When cutting plastic parts, watch for any flying parts.
- Try to assemble any rotating parts or drivetrain parts as smooth as possible.
- Bundle wires neatly away from the ground or any moving drivetrain components. Make sure that all wires are properly connected to prevent shorting.
- Unnecessary modifications may be unsafe and hinder performance.
- Always paint in a well ventilated area away from flames.

### PRECAUTIONS BEFORE RUNNING

- Yokomo R/C cars are built for competition use, and some models may exceed speeds of 40km per hour. Practice common sense and run the car in open safe places, or R/C car tracks.
- Do not run the car on public roads with high amounts of traffic, or in areas that may cause an inconvenience to people in that area.
- R/C cars are controlled using a radio frequency. In a worst-case scenario, radio interferences may cause loss of control.
- If others near you are running R/C cars, confirm that they are not running on the same frequency.
- R/C cars do not like water. Avoid running on rainy days, or areas with water puddles. Exposure of the electronics to water may cause loss of control or damage to the electronics.
- The drivetrain of an R/C car consists of many moving parts like gears, belts, shafts, and tires. Avoid touching these areas when the battery is connected.
- Many parts of an R/C car will become hot after running. Allow the parts to sufficiently cool before conducting any maintenance.

### BEGINNING A RUN

- ① Place the R/C car on a stand so the wheels are off the ground.
- ② Confirm that the speed controller switch is OFF, and connect the motor and battery.
- ③ Extend the transmitter antenna and turn the switch ON. (It is unsafe to use a transmitter with low voltage. Make sure that the transmitter batteries are good before running)
- ④ Turn the speed controller switch ON.

### FINISHING A RUN

- ① Turn the speed controller switch OFF.
- ② Disconnect the battery.
- ③ Turn the transmitter switch OFF, and retract the antenna.

### BATTERY USAGE

- (Carefully read the instruction included with the batteries.)
- When charging batteries, make sure that the surrounding area is void of anything highly flammable. Also avoid charging in high-temperature locations.
  - When charging batteries, frequently monitor the charging it catch on fire. If the battery reaches 50 degrees Celcius or more, stop charging.
  - Batteries will become hot after running. Continuous use of the battery pack may result in damage to the cells. Allow the battery too cool down before re-charging. Using a battery conditioner after running may prolong the life and performance of the battery.
  - Please do not discard old battery packs in the trash. Although inconvenient, please locate a battery disposal center.

### MOTOR USAGE

- (Carefully read the instruction included with the motor.)
- Connecting a 7.2V battery directly to the motor can be very dangerous. This may cause the internal parts of the motor to break apart, causing some parts to fly out of the motor. To break-in the motor, safely secure the motor and run the motor at about 3-5V.
  - Motors require periodic maintenance. Slower speeds and decreased run times may indicate a worn-out motor. Periodically clean the motor and change the brushes when needed.
  - Choose a gear ratio that matches the power characteristics of the motor. Using a gear ratio unsuited to the characteristics of the motor will not only prevent the motor from performing at its optimum, but may even cause damage to the other electronics.
  - Motors will generally become very hot after running. Continuous running will reduce the life of the motor. Allow the motor to sufficiently cool between each run.

# 【組み立てに必要な物】

## ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [YR-R12] ASSEMBLY

### ■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

#### ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

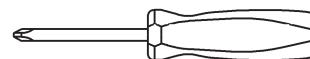
- 2チャンネルプロポ (1サーボ 1アンプ仕様)  
**TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM  
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL**
- 走行用バッテリーパック  
**BATTERY PACK**
- 走行用バッテリー充電器  
**BATTERY CHARGER**
- 走行用モーター  
**MOTOR**
- タイヤ  
**TIRES**
- 走行用ボディー
  - BODY**
- ボディー塗装用カラー
  - BODY SPRAY PAINT**
- 64ピッチ ピニオンギヤ  
**64P PINION GEAR**
- 瞬間接着剤  
**Quick Drying Glue**
- ストラッピングテープ  
**STRAPPING TAPE**

[YR-R12]の性能を十分に発揮させる為にイラストを良く参考し説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

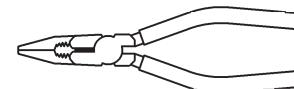
**For assembly, follow the figures and the instructions closely  
so that your [YR-R12] will perform at its best!!**

### ■ 別途用意する工具 ■

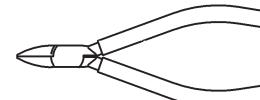
#### ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



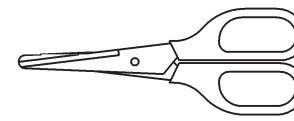
ドライバー (大,小)  
**SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)**



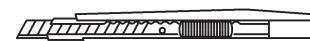
ラジオペンチ  
**NEEDLE NOSE PLIERS**



ニッパー  
**SIDE CUTTER**



ハサミ  
**SCISSORS**



カッター  
**HOBBY KNIFE**

### ■ キットに入っている工具 ■

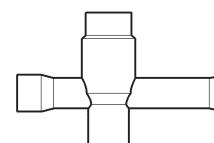
#### TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ  
**ALLEN WRENCH**  
(1.5 & 2.0 & 3.0 mm)



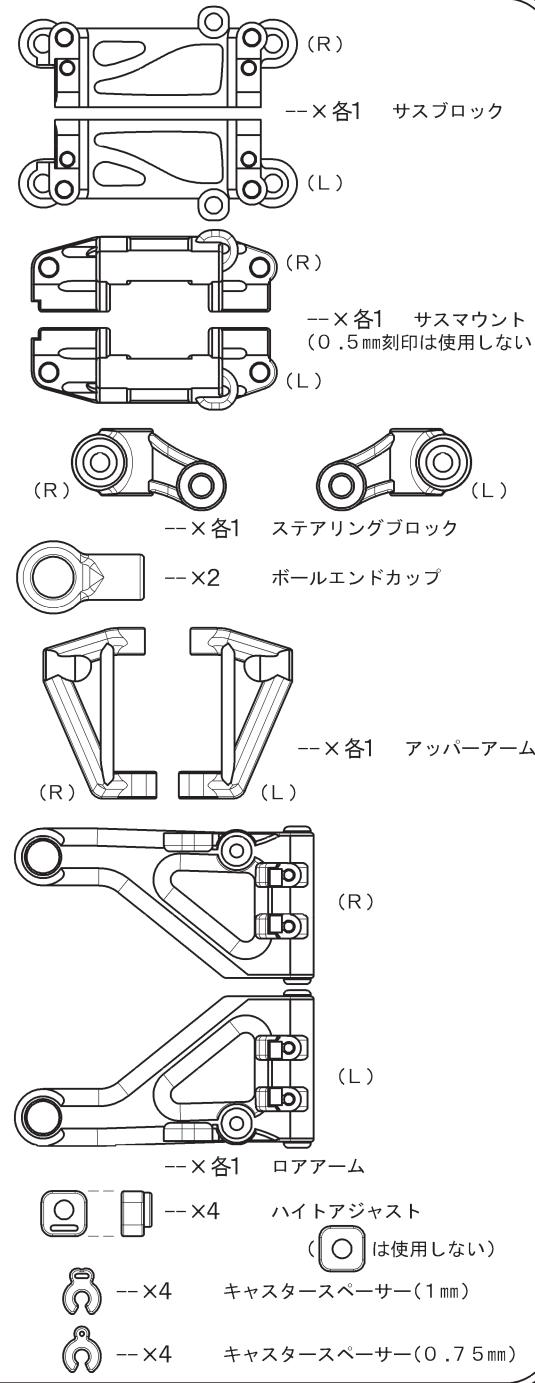
ターンバッカルレンチ  
**TURNBUCKLE WRENCH**



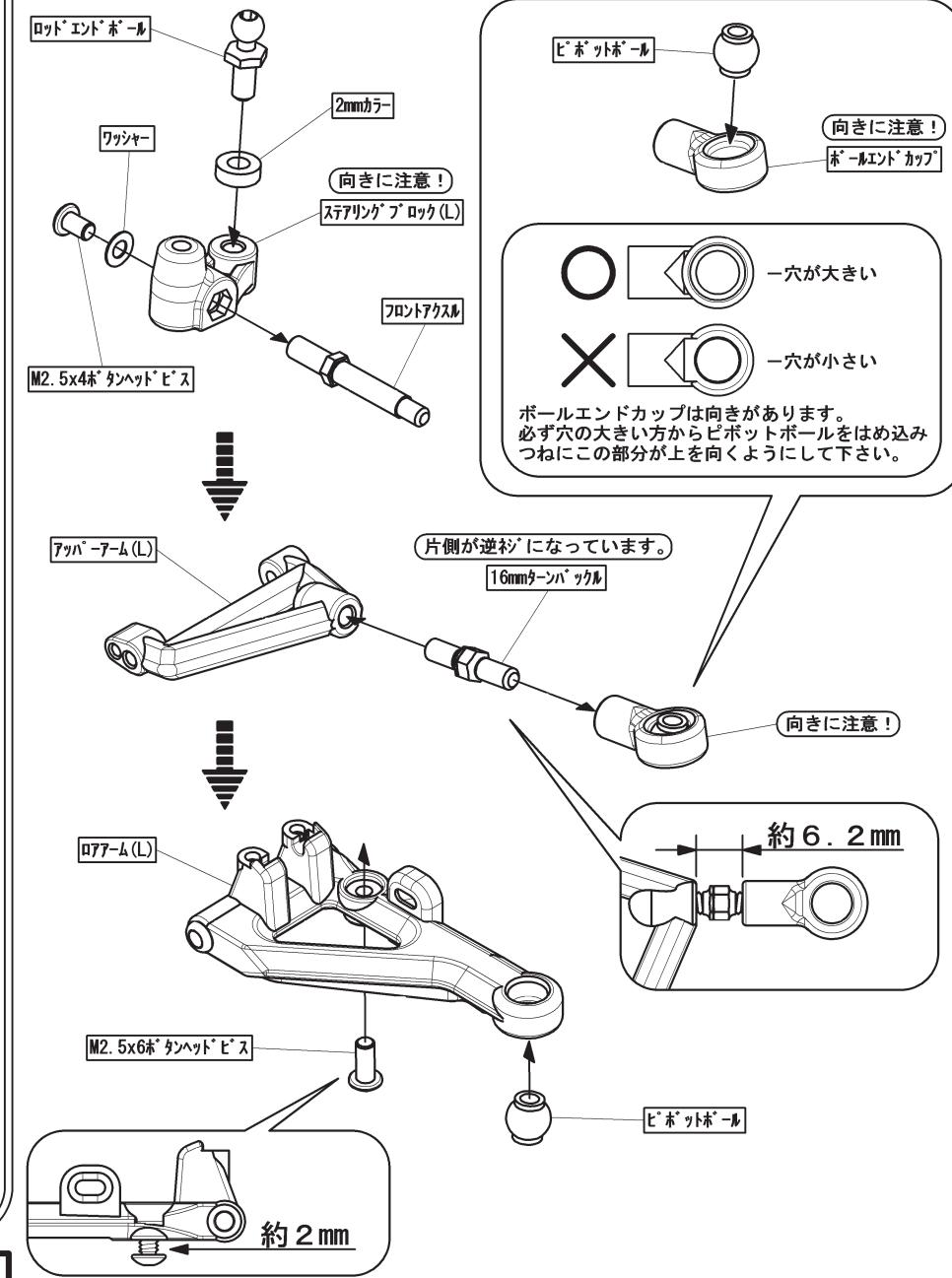
十字レンチ  
**NUT WRENCH**

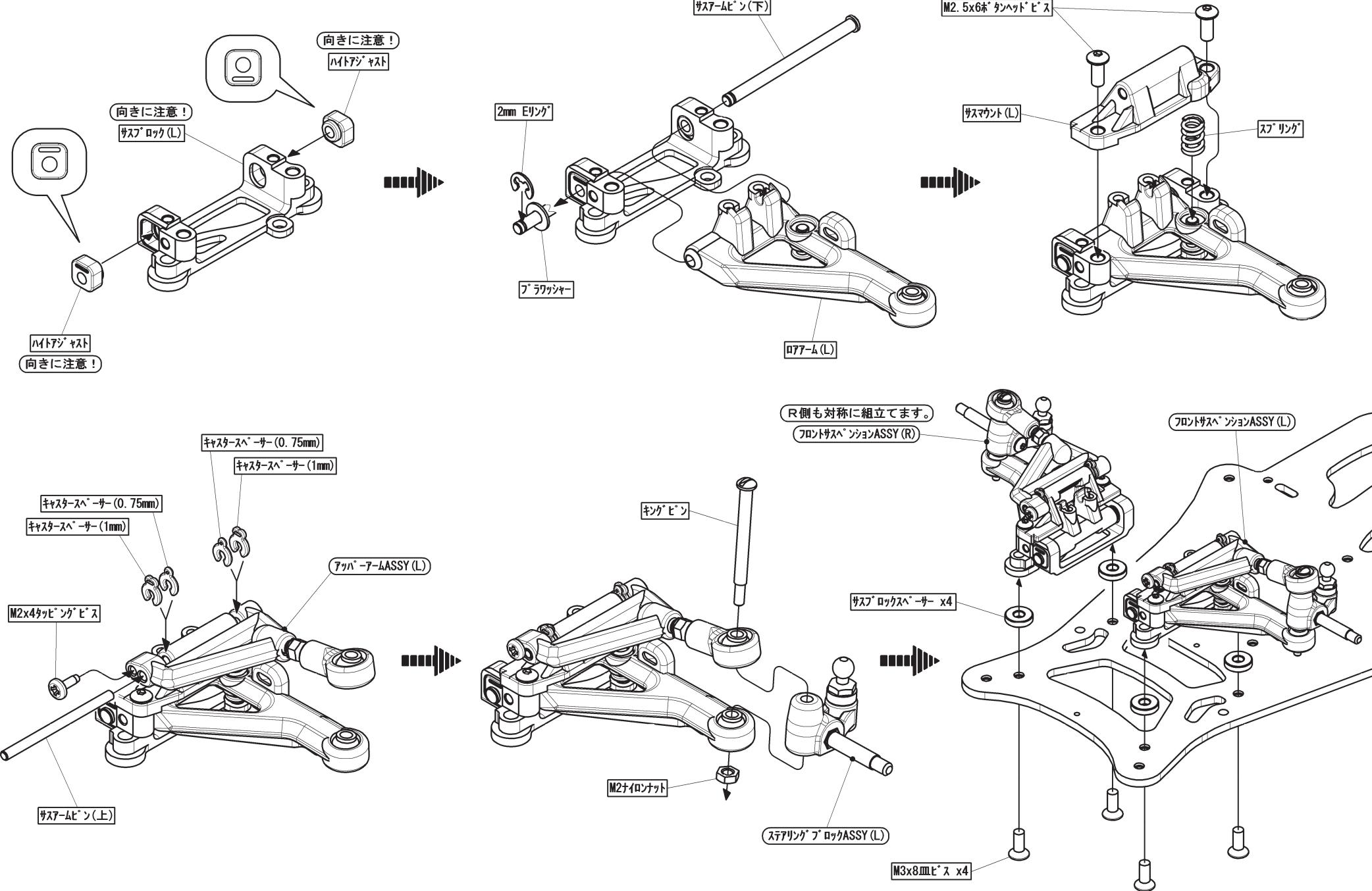
【袋-① の内容】

--x4	M3×8皿ビス
--x2	M2.5×4ボタンヘッドビス
--x6	M2.5×6ボタンヘッドビス
--x2	M2×4タッピングビス
--x2	M2ナイロンナット
--x2	2mmEリング
--x2	プラワッシャー
--x2	ワッシャー
--x2	2mmカラー
--x4	サスブロックスペーサー
--x4	ピポットボール
--x2	スプリング
--x2	ロッドエンドボール
--x2	16mmターンバックル
--x2	フロントアクスル
--x2	キングピン
--x2	サスアームピン(上)
--x2	サスアームピン(下)
--x1	十字レンチ
--x1	ターンバックルレンチ
--x1	六角レンチ(1.5 & 2.0mm)



イラストは左側を示していますが  
対象に右側も組立てて下さい。



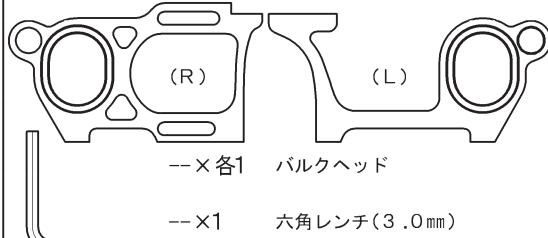


### 【袋一②の内容】

M3×4セットスクリュー --x4	M3×4セットスクリュー --x2
M2×6キャップスクリュー --x2	
(R)	(L)
--各1	スタビブロック
--x1	スタビシャフト(L)
--x2	スタビシャフト(S)

### 【袋一③の内容】

M2.5×6皿ビス --x2	M3×5皿ビス --x5
M2.5×6ボタンヘッドビス --x2	
Oリング --x4	サスボール --x1
シャフトワッシャー --x2	
バルクヘッドシャフト --x1	

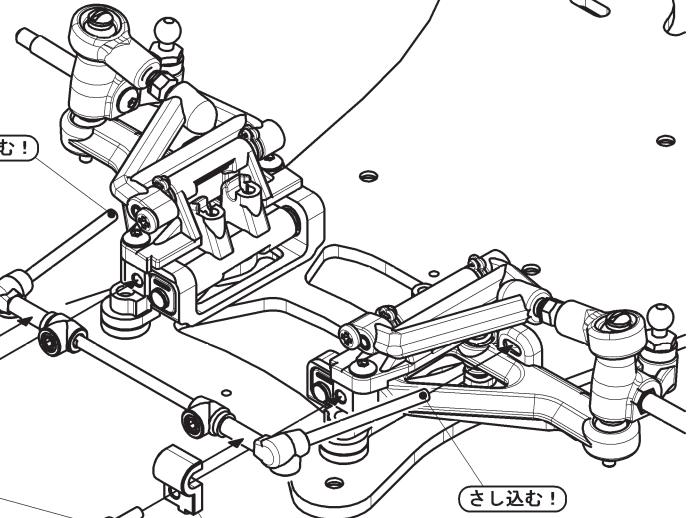
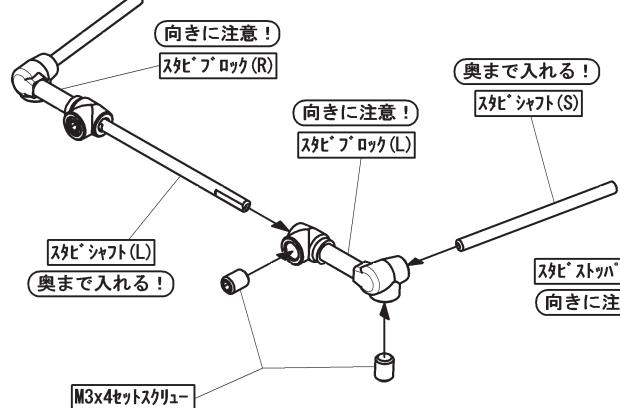


その他、ロアポッドプレート 1ヶ

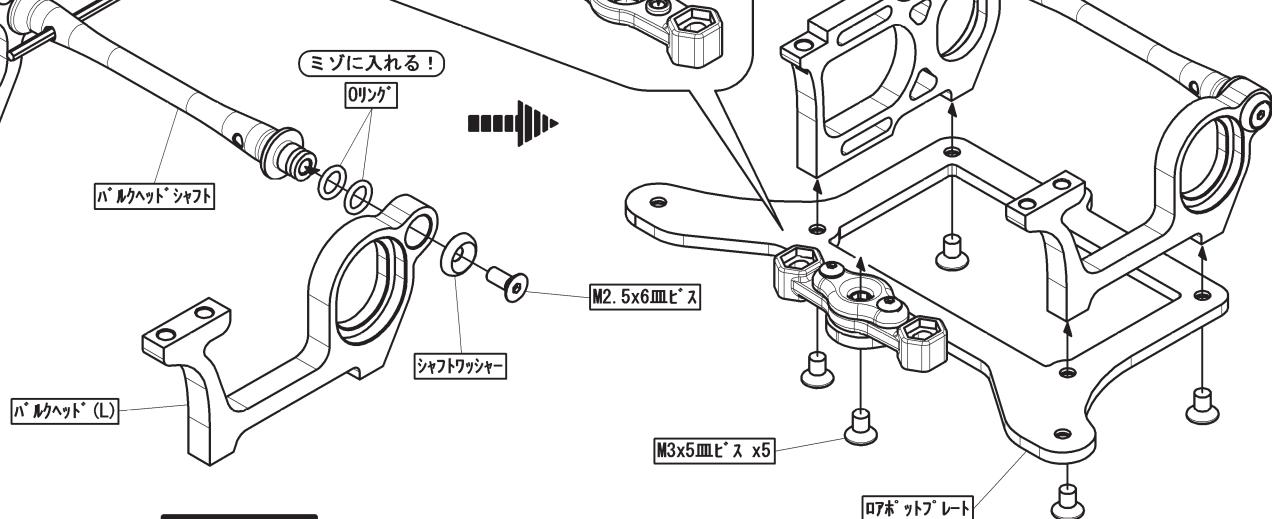
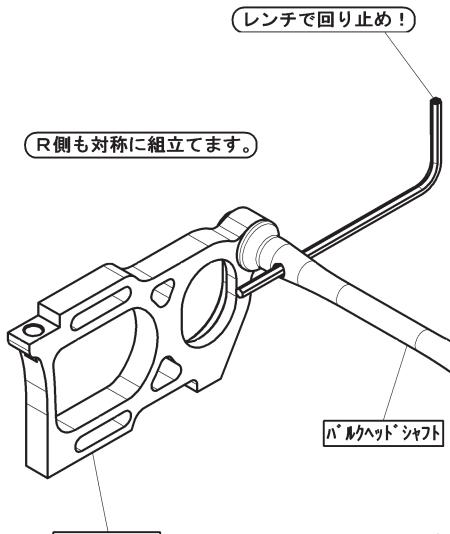
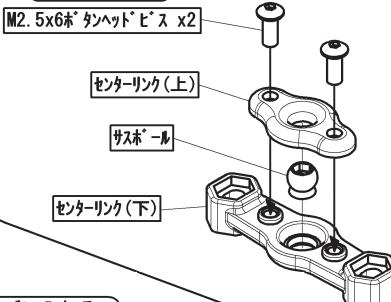
### 【袋一①の残り】

(R)	スタビストッパー --各1
(L)	
--x1	センターリンク(上)
--x1	センターリンク(下)

R側も対称に組立てます。

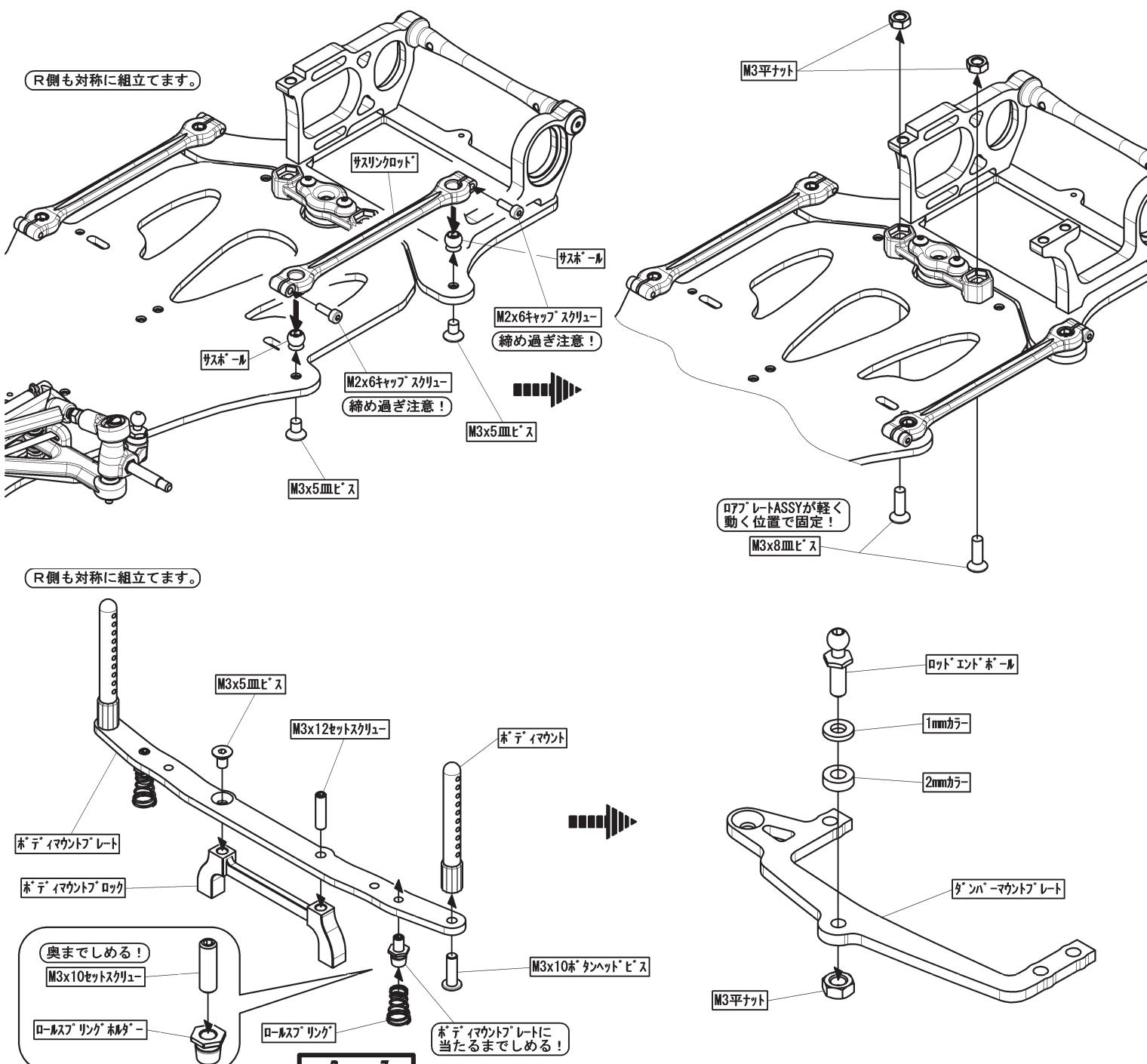


締め過ぎ注意!



【袋-④ の内容】

	--x5	M3×5 ハリビス
	--x2	M3×8 ハリビス
	--x2	M3×10 ボタンヘッドビス
	--x4	M2×6 キャップスクリュー
	--x2	M3×10 セットスクリュー
	--x1	M3×12 セットスクリュー
	--x3	M3 平ナット
	--x1	ロッドエンドボール
	--x4	サスボール
	--x2	ロールスプリングホルダー
	--x2	ロールスプリング
	--x1	1 mm カラー
	--x1	2 mm カラー
	--x4	サスリンクロッド
	--x2	ボディマウント
	--x1	ボディマウントブロック
その他、ボディマウントプレート 1ヶ ダンパーマウントプレート 1ヶ		



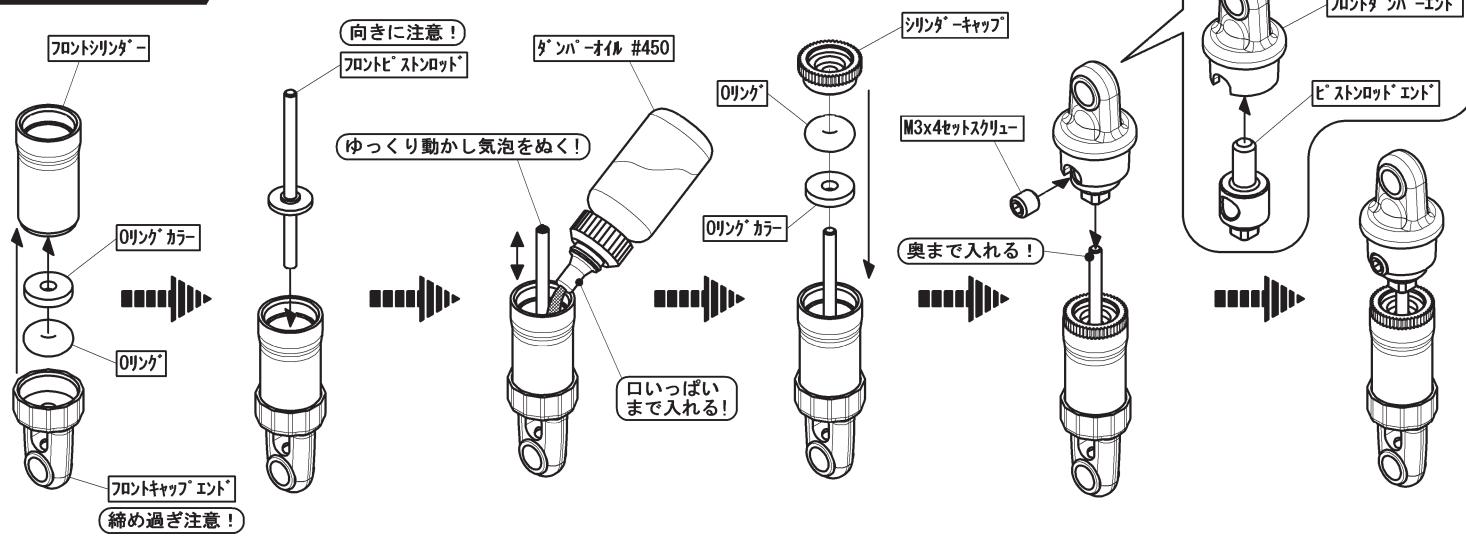
### 【袋一⑤ の内容】

- x3 M3×4セットスクリュー
- x3 サスボール
- x1 フロントシリンダー
- x2 リヤシリンダー
- x1 スプリング (L)  
(短い方(S)は使用しない)
- x6 Oリング(オレンジ)
- x1 フロントピストンロッド
- x2 リヤピストンロッド
- x3 ピストンロッドエンド
- x1 ボールエンドキャップ
- x2 キャップボールエンド
- x1 フロントキャップエンド
- x3 シリンダーキャップ
- x1 アジャストナット

### 【袋一① の残り】

- x6 Oリングカラー
- x1 ダンパーエンド
- x1 フロントダンパーエンド
- x1 スプリングカップ

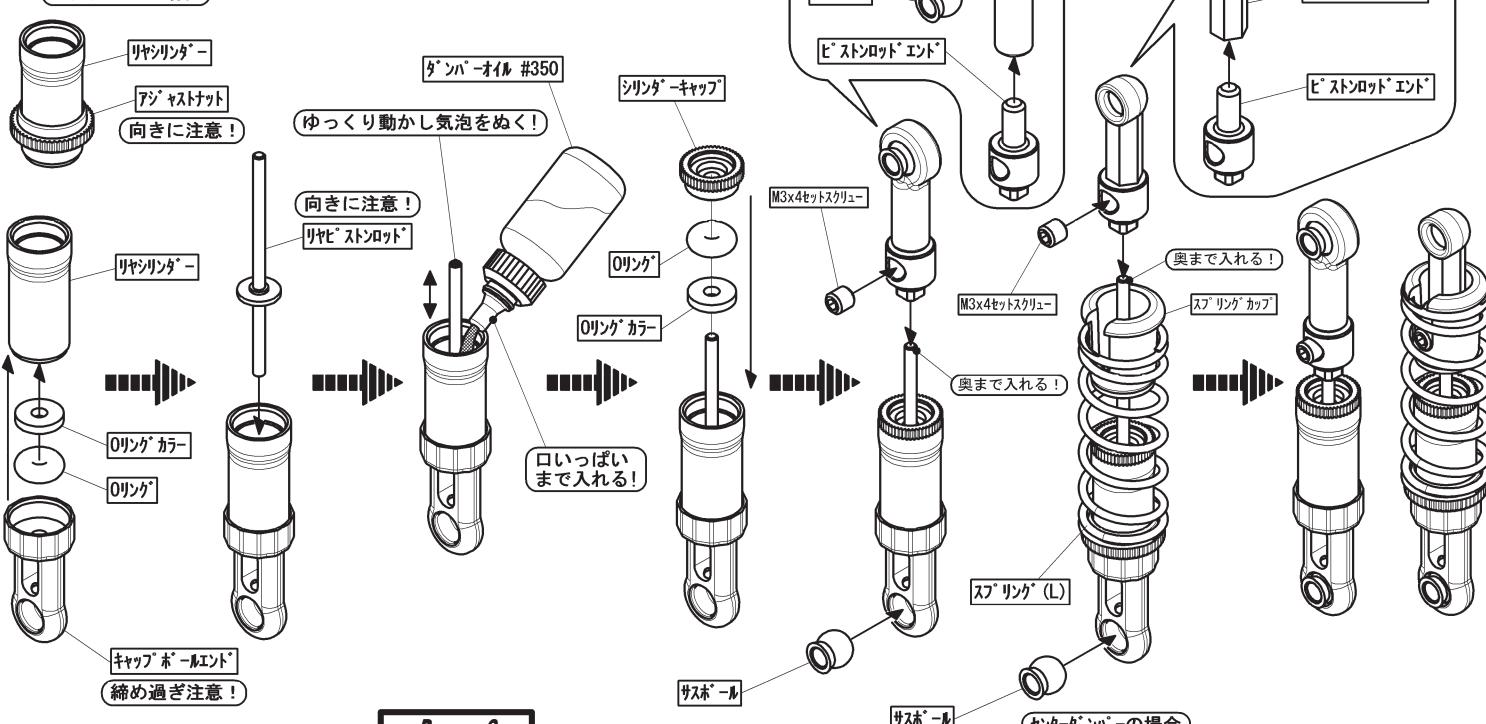
### フロントダンパー



### センター&リヤダンパー

イラストはリヤダンパーですがセンターダンパー  
(スプリング付)も同様に組立てます。

#### (センター・ダンパーの場合)



### 【袋一⑥ の内容】

- x2 M2.5×6皿ビス
- x5 M3×5皿ビス
- x7 M3×6ボタンヘッドビス
- x4 M2×4タッピングビス
- x2 1mmカラー
- x1 2mmカラー
- x2 ダンバーピン
- x1 アンテナブロック

--x1 センターダンバープレート

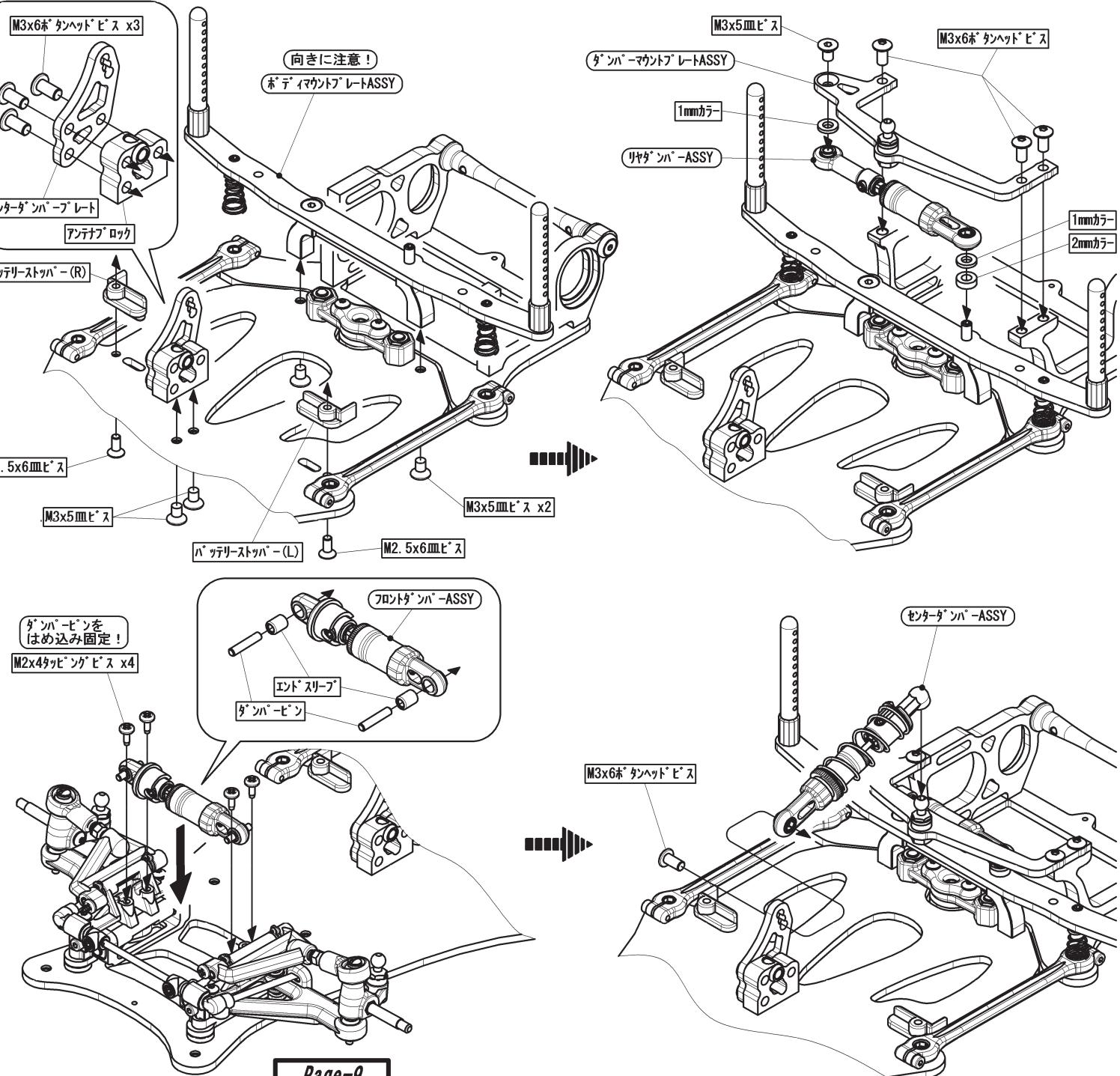
### 【袋一① の残り】

- x2 エンドスリーブ

### 【袋一④ の残り】

- (R) --x1 パッテリーストップバー
- (L) --x1 パッテリーストップバー

●部の穴を使用します。



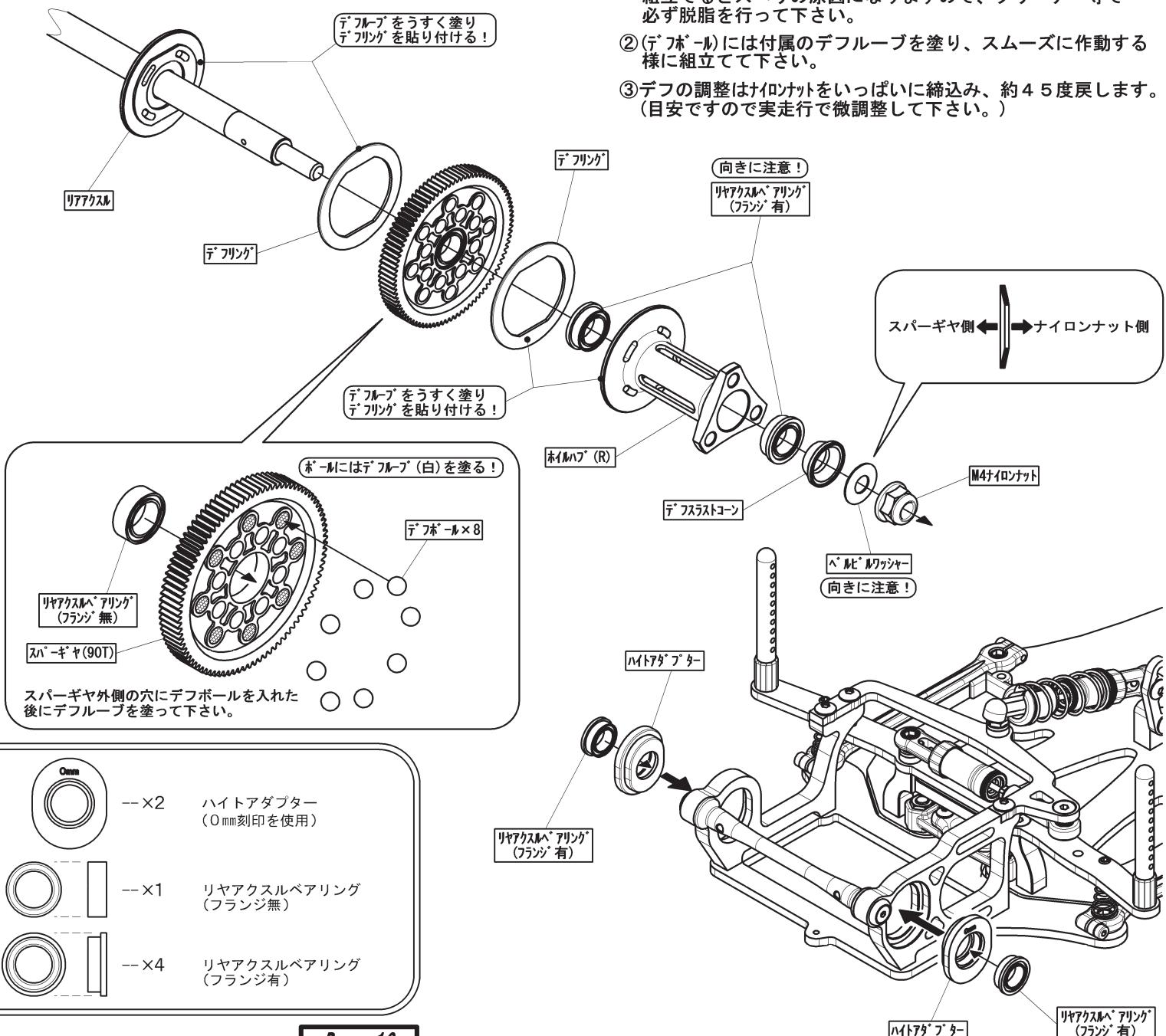
**【袋一⑦ の内容】**

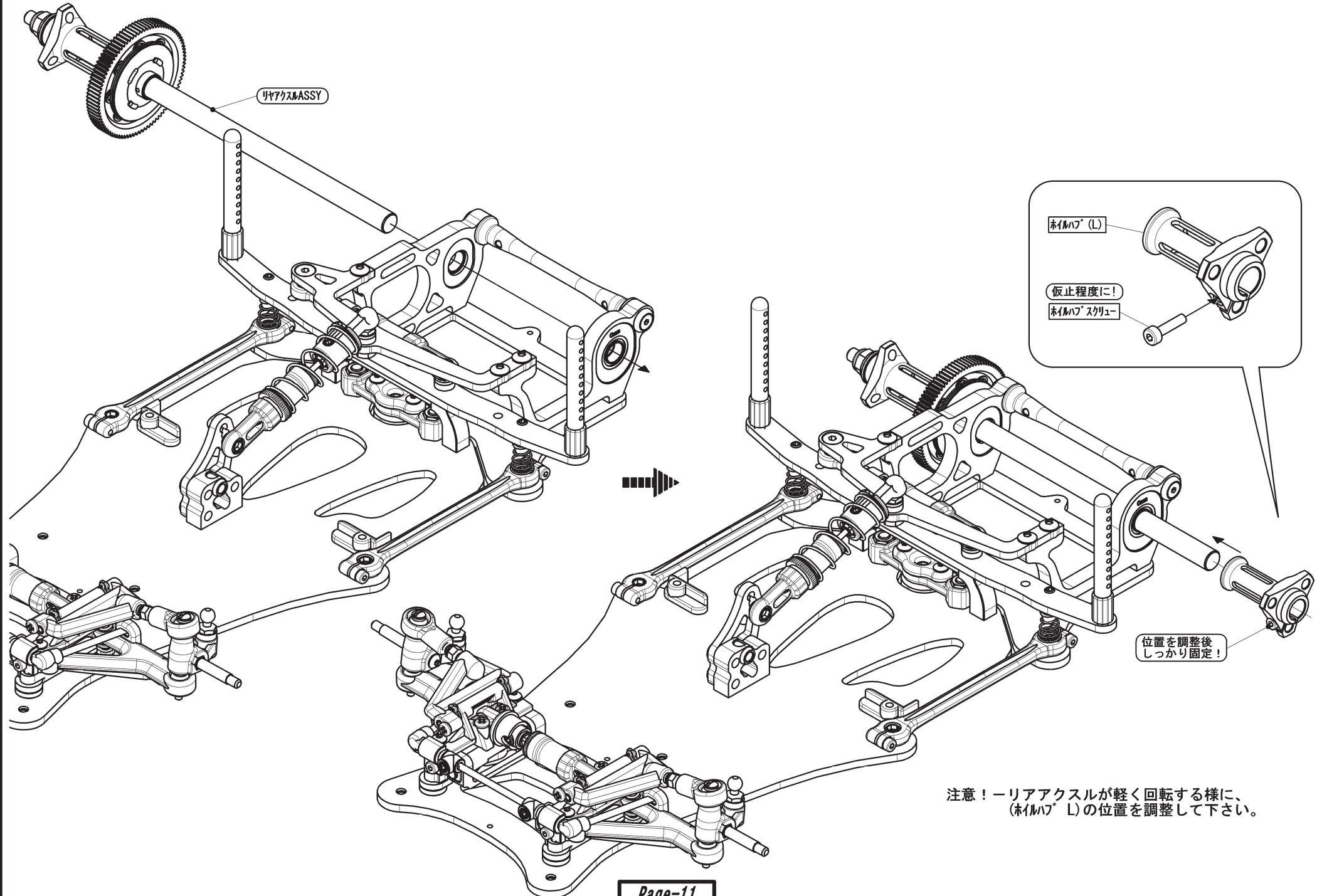
	--x1	ホイルハブスクリュー
	--x1	M4 ナイロンナット
	--x1	デフスラストコーン
	--x1	ベルビルワッシャー
	--x8	デフボール
	--x2	デフリング
	--x1	スパーギヤ(90T)
	--x1	ホイルハブ (R)
	--x1	ホイルハブ (L)
	--x1	リヤアクスル
その他、デフループ(白) 1ヶ		

**注意！①(デ'リング)はサビ止めのオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー等で必ず脱脂を行って下さい。**

**②(デ'ボ'ール)には付属のデフループを塗り、スムーズに作動する様に組立てて下さい。**

**③デフの調整はナilonナットをいっぱいに締込み、約45度戻します。(目安ですので実走行で微調整して下さい。)**





### 【袋一⑧ の内容】

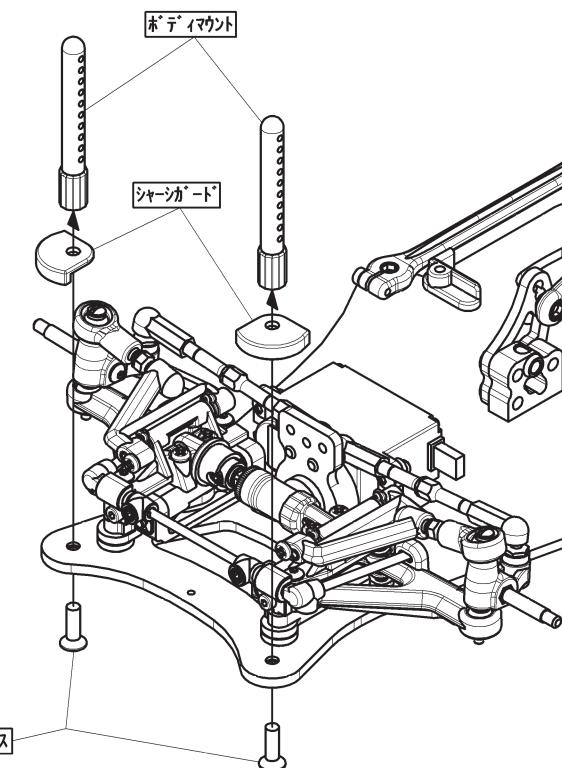
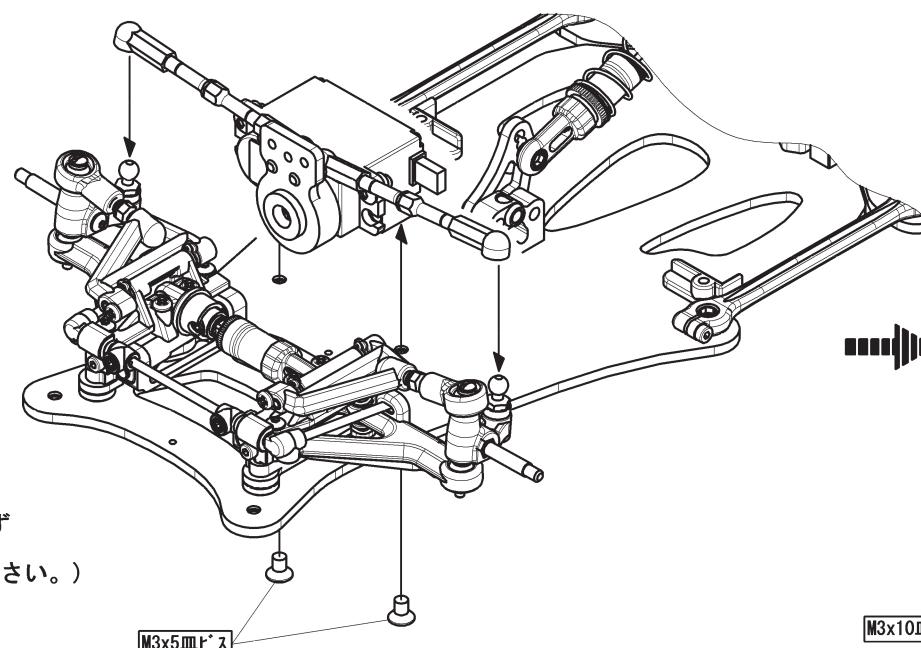
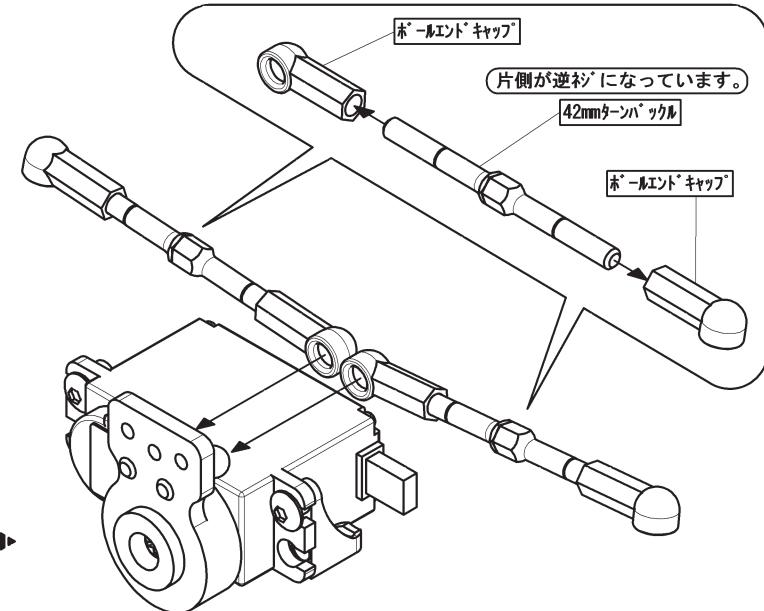
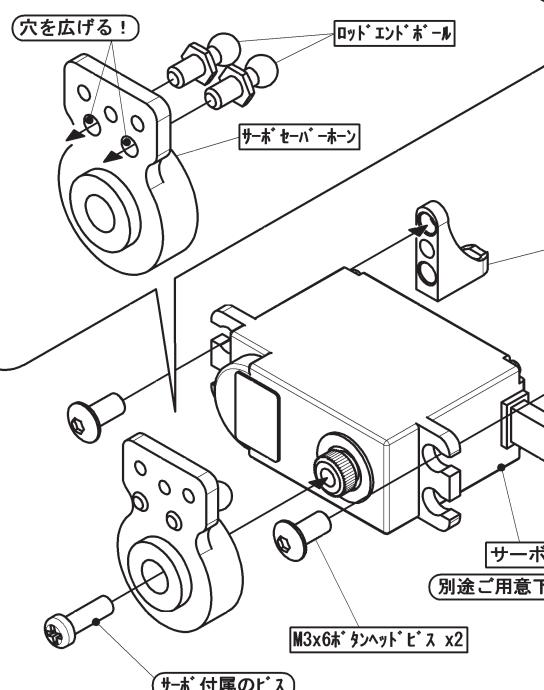
- x1 M3×4 セットスクリュー
- x2 M3×5 盤ビス
- x2 M3×10 盤ビス
- x2 M3×6 ボタンヘッドビス
- x2 ロッドエンドボール
- x2 42mm ターンバックル
- x4 ポールエンドキャップ
- x2 サーボマウント
- x1 サーボセーバーホーン

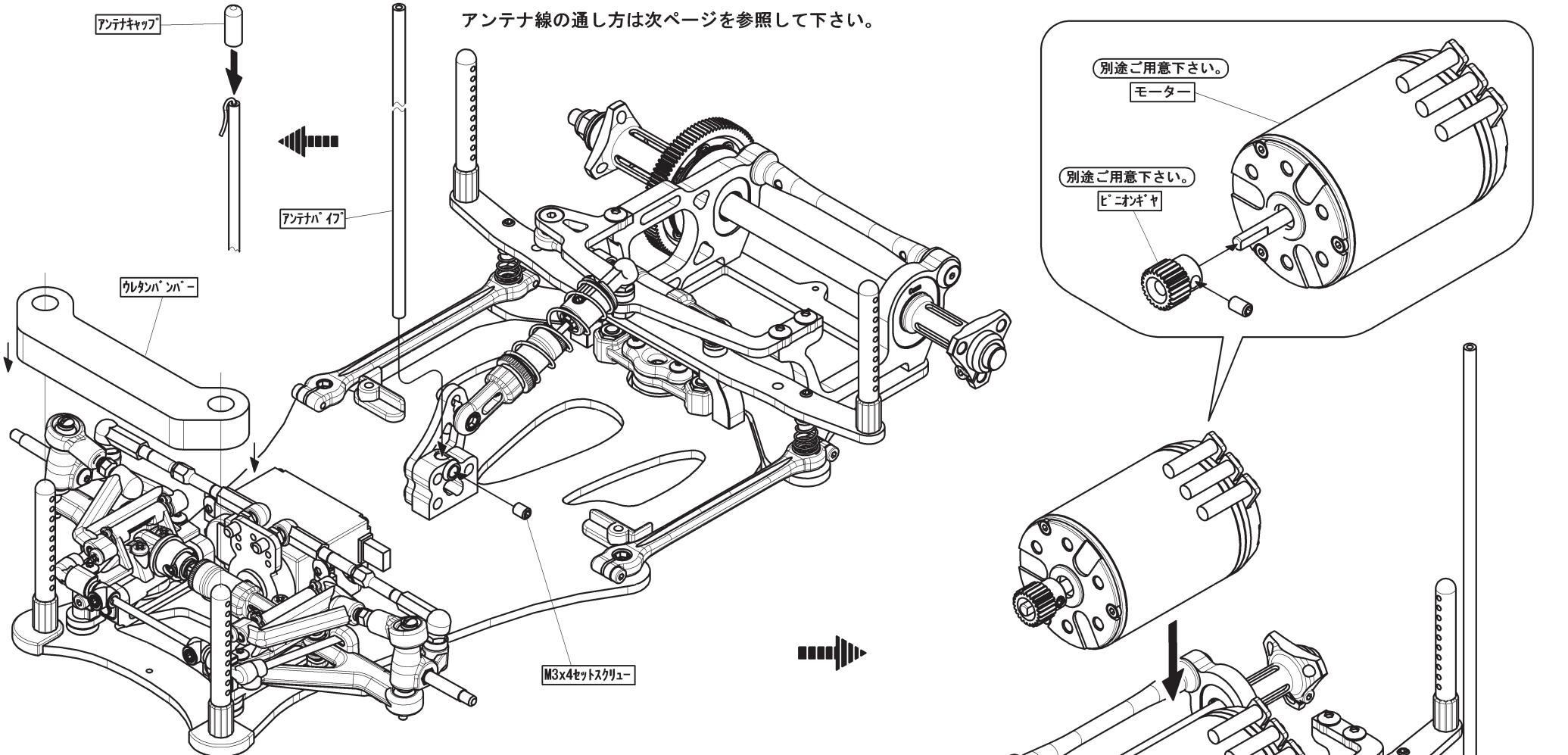
その他、アンテナキャップ、両面テープ 1ヶ

### 【袋一④ の残り】

- x2 ボディマウント
- x2 シャーシガード

注意！－(サーボセーバーホーン)を取付ける前に必ず  
サーボのニュートラルを出して下さい。  
(詳しくはプロポセットの説明書をごらん下さい。)





注意！①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途  
ご用意下さい。

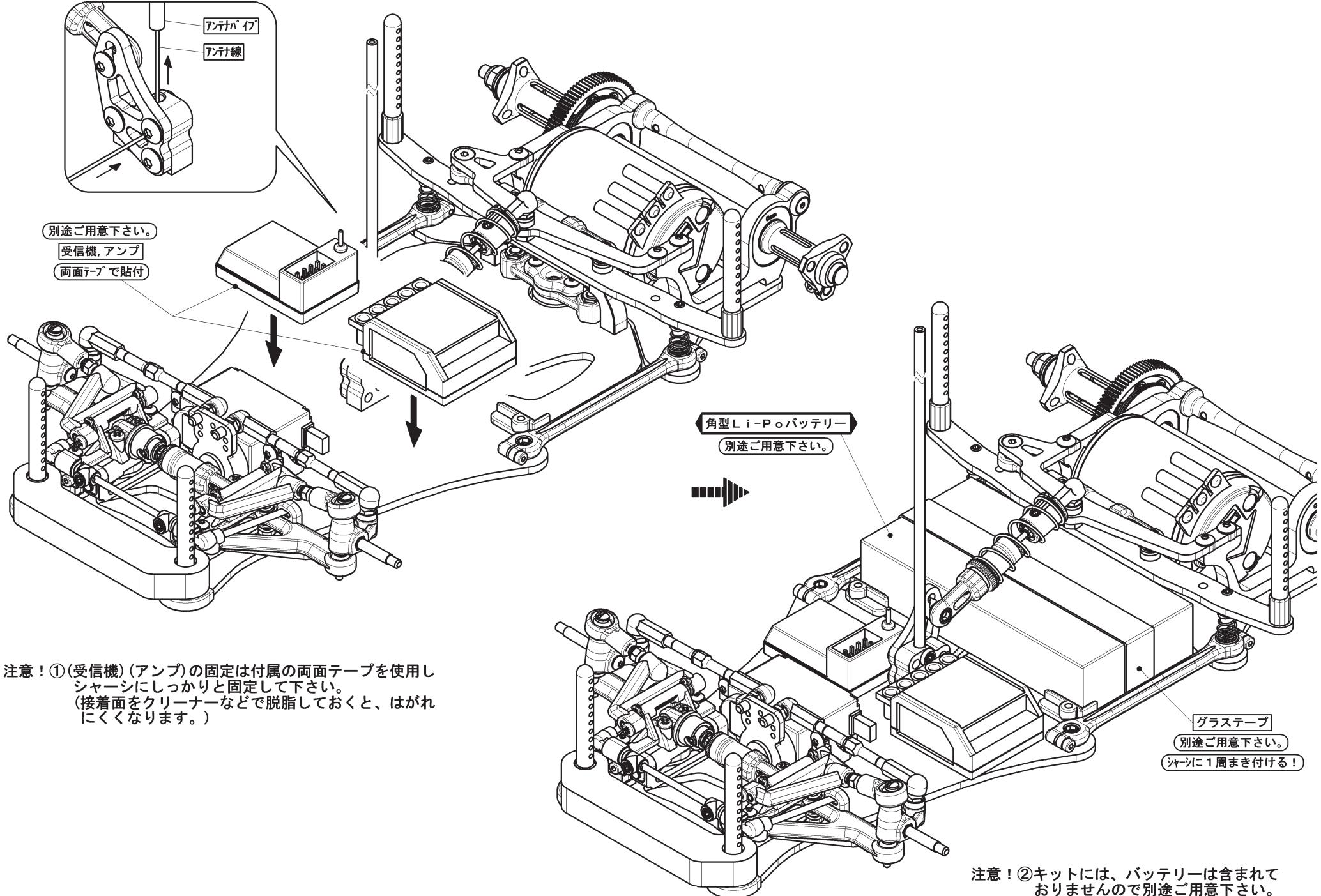
- ②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの”Dカット”  
されている部分に、セットスクリューが当たる様に  
しっかりと締め込んで下さい。
- ③バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。  
(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)

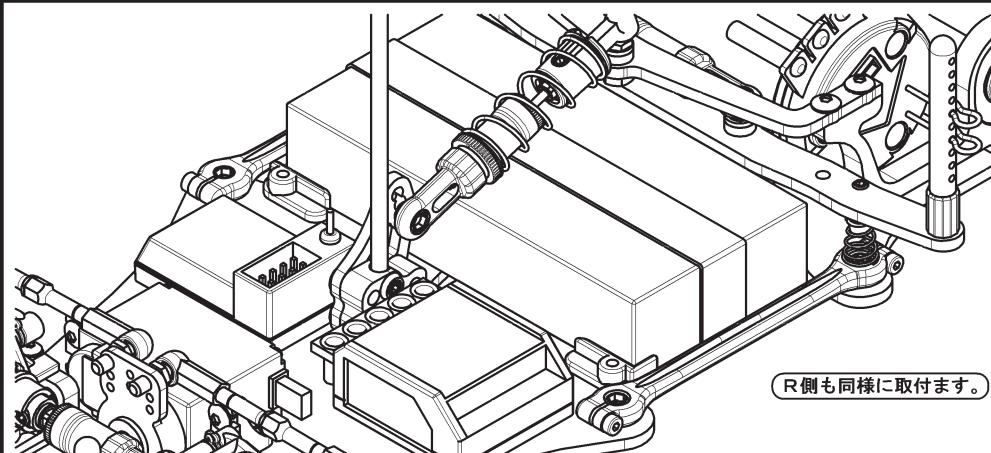
【袋一⑨ の内容】

M3x8 ボタンヘッドビス	--x2
ワッシャー（黒）	--x2

M3x8ボタンヘッドビス

ワッシャー（黒）

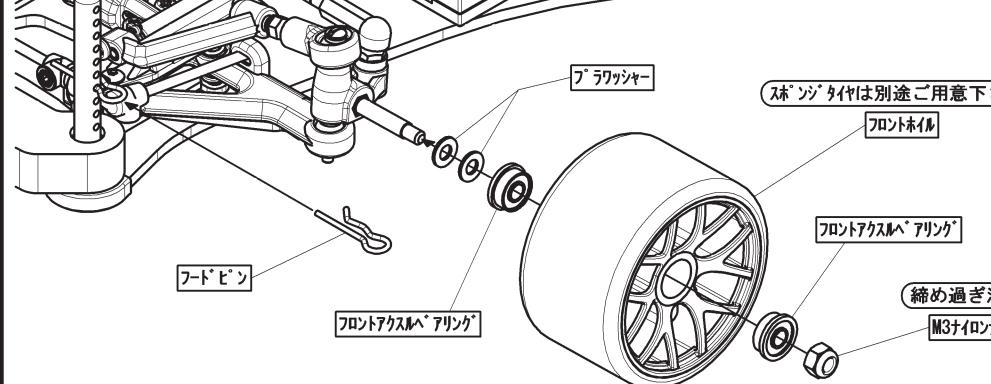




R側も同様に取付ます。

(スポンジタイヤは別途ご用意下さい。)

リヤホイル



(スポンジタイヤは別途ご用意下さい。)

フロントホイル

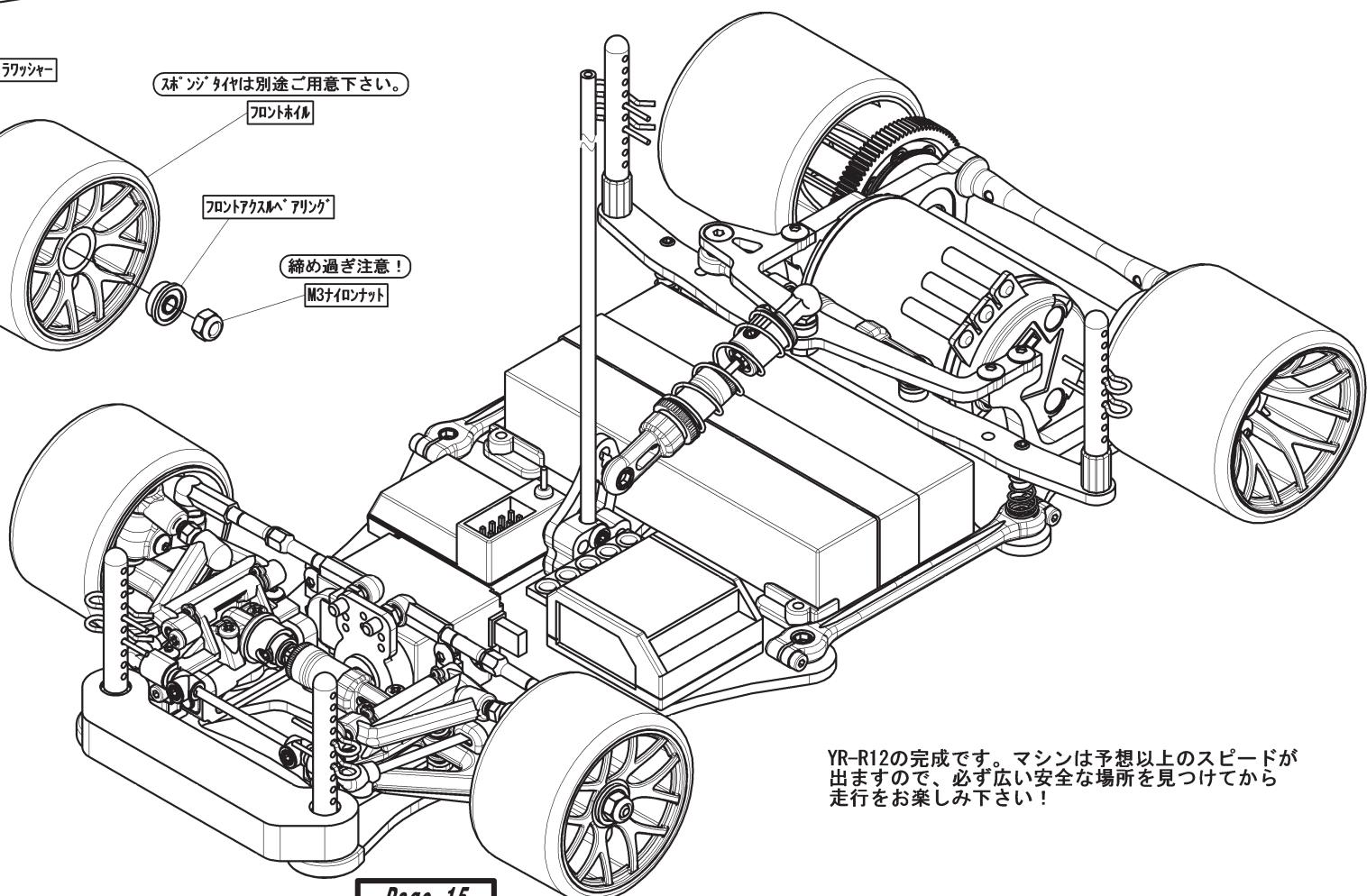
フロントアクスルベアリング

締め過ぎ注意!

M3ナイロンナット

フードピン

フロントアクスルベアリング

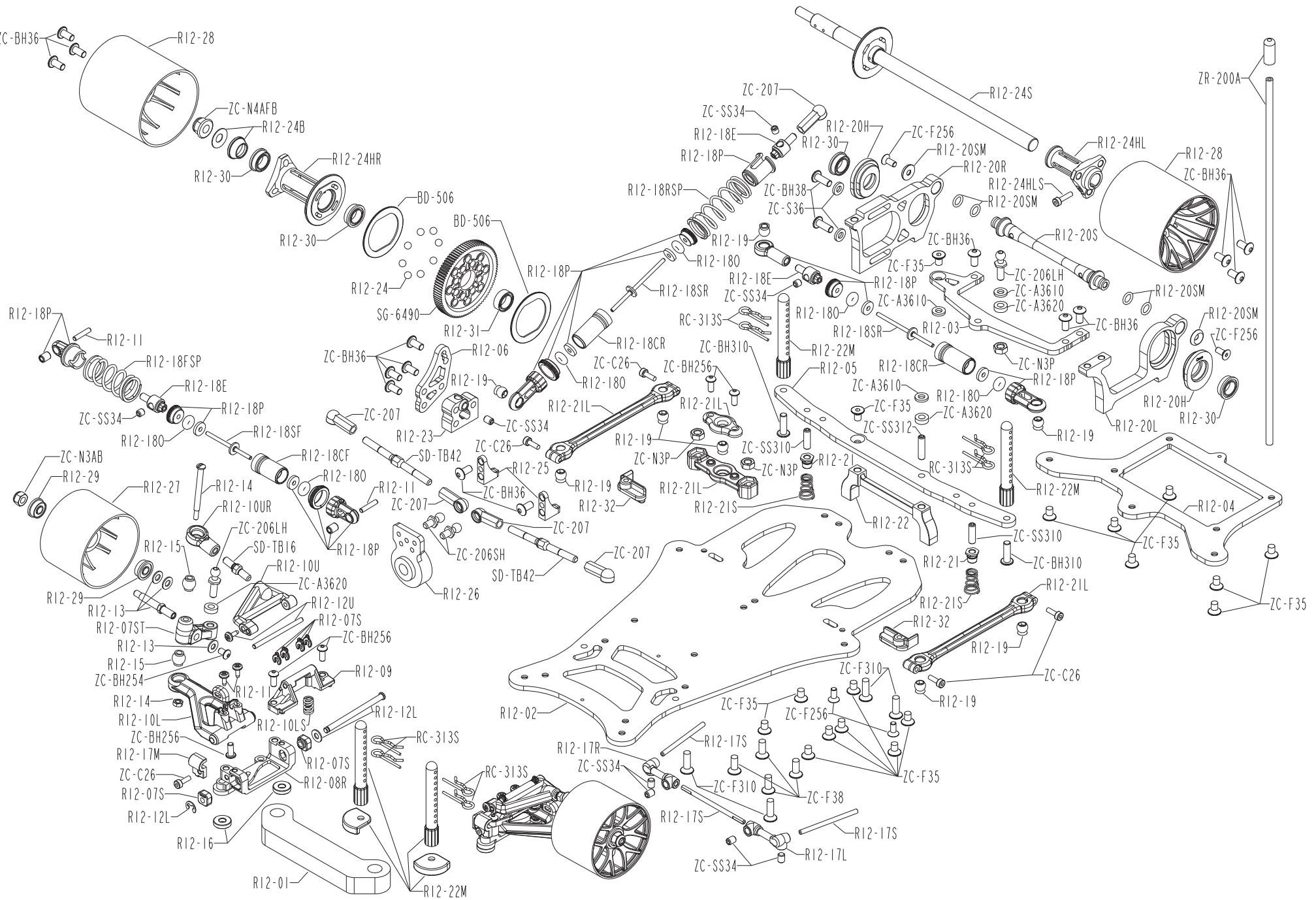


YR-R12の完成です。マシンは予想以上のスピードが出ますので、必ず広い安全な場所を見つけてから走行をお楽しみ下さい！

### 【袋-⑩ の内容】

	--x6	M3×6 ボタンヘッドビス
	--x2	M3ナイロンナット
	--x4	プラワッシャー
	--x8	フードピン
	--x4	フロントアクスルベアリング

その他、フロント & リヤホイル 2ヶ



# YOKOMO

# R12

## SETTING SHEET

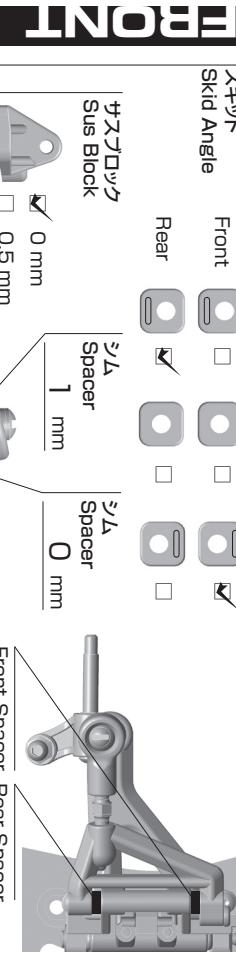
DRIVER \_\_\_\_\_ DATE \_\_\_\_\_

### CIRCUIT

- 環境  インドア  アウトドア
- 路面  アスファルト  コンクリート  カーペット
- グリップ  高い  普通  低い
- 路面状況  フラット  バンピー
- 気温
- 湿度

ショック/shock absorber  
オイル/Oil 450

センターアーム/Sway Bar Center STD NO



※基本セット

車高 Ride Height 3.4 mm	ショック/shock absorber
キャブレーター Camber Angle 1	オイル/Oil 450
トーア角 Toe Angle OUT 1 °	センターアーム/Sway Bar Center STD NO
メモ/Notes	

### FRONT

車高 Ride Height 3.4 mm

トレッド Tread 169 mm

メモ/Notes

サイドスプリング Side Spring

ピッチ/Pitch

オイル/Oil 350

スプリング Side Spring

ロール/Roll

オイル/Oil 350

サイドスプリング Side Spring

シルバー/Silver



### REAR

車高 Ride Height 3.2 mm

トレッド Tread 169 mm

メモ/Notes

サイドスプリング Side Spring

ピッチ/Pitch

オイル/Oil 350

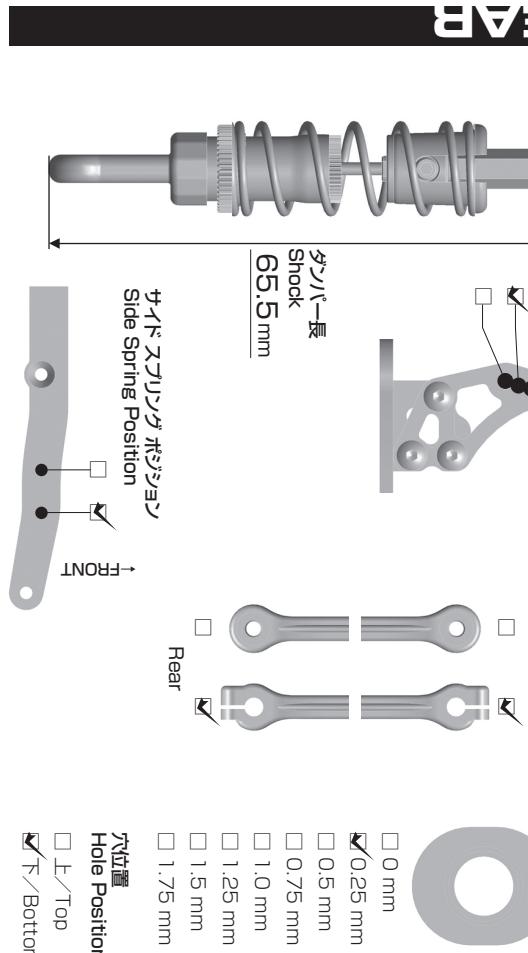
スプリング Side Spring

ロール/Roll

オイル/Oil 350

サイドスプリング Side Spring

シルバー/Silver



### FRONT

車高 Ride Height 3.2 mm

トレッド Tread 169 mm

メモ/Notes

サイドスプリング Side Spring

ピッチ/Pitch

オイル/Oil 350

スプリング Side Spring

ロール/Roll

オイル/Oil 350

サイドスプリング Side Spring

シルバー/Silver

### TIRE

タイヤ/Tire

TR-3660F3

直径/Diameter

43.5 mm

ホイール/Wheel

YOKOMO

トラクション/Tire Treatment

### REAR

タイヤ/Tire

TR-3621MH

直径/Diameter

44.5 mm

ホイール/Wheel

YOKOMO

トラクション/Tire Treatment

モーター Motor	スピードコントローラー Electric Speed Controller	
進角 Timing	SCセッティング SC Setting	
スパーギア Spur Gear	サーボ Servo	
ピニオンギア Pinion Gear	受信機 Receiver	
ボディ Body	送信機 Transmitter	
ボディマウントポジション Body Mount Position	ステアリングエキスペリエンス Expo Steering Expo	
前 Front	ブレーキエンドポイント Brake E.P.	
後 Rear	スロットルエキスペリエンス Throttle Expo	
Battery		

モーター Motor	スピードコントローラー Electric Speed Controller	
進角 Timing	SCセッティング SC Setting	
スパーギア Spur Gear	サーボ Servo	
ピニオンギア Pinion Gear	受信機 Receiver	
ボディ Body	送信機 Transmitter	
ボディマウントポジション Body Mount Position	ステアリングエキスペリエンス Expo Steering Expo	
前 Front	ブレーキエンドポイント Brake E.P.	
後 Rear	スロットルエキスペリエンス Throttle Expo	
Battery		

# YOKOMO

# R12

## SETTING SHEET

DRIVER \_\_\_\_\_ DATE \_\_\_\_\_

### CIRCUIT

- 環境 □ インドア □ アウトドア
- 路面 □ アスファルト □ コンクリート □ カーペット
- グリップ □ 高い □ 普通 □ 低い
- 路面状況 □ フラット □ バンピー
- 気温
- 湿度 %

### Skid Angle

Front

Rear

0 mm

0.5 mm

### Sus Block

Front

Rear

0 mm

0.5 mm

### Spacer

Front

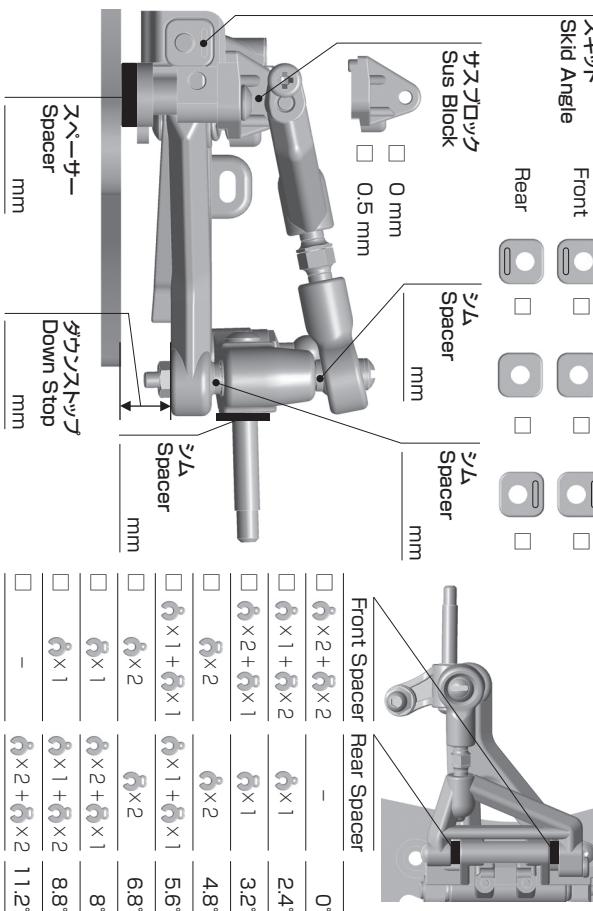
Rear

0 mm

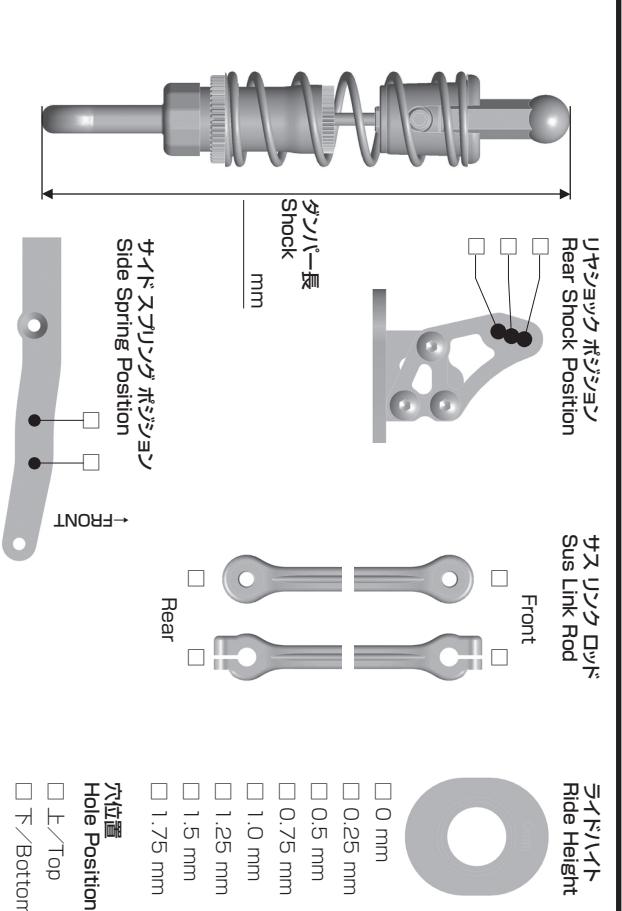
0.5 mm

%

# FRONT



# REAR



# OPTION

モーター / Motor	スピードコントローラー / Electric Speed Controller	FRONT	REAR
進角 / Timing	SCセッティング / SC Setting		
スパーギア / Spur Gear	サーボ / Servo		
ピニオンギア / Pinion Gear	受信機 / Receiver		
ボディ / Body	送信機 / Transmitter		
ボディマウントポジション / Body Mount Position	ステアリングエキスパンダ / Steering Exp	塗り巾 FL	塗り巾 FR
前 / Front	ブレーキエンドポイント / Brake E.P.	塗り巾 RL	塗り巾 RR
後 / Rear	スロットルエキスパンダ / Throttle Exp	時間 / Time	時間 / Time
バッテリー / Battery			

**■ キャンバー調整**

基本は1度に調整します。キャンバーをつけていくとフロントの入りが良くなり、逆にキャンバーを起こすとアンダー傾向になります。

**■ ロアームスキッド角**

ロアームスキッド角をつけるとパワーのときのフロントの沈み込みが良くなりギャップ走破性にも優れます。  
逆スキッドではフロントサスアームのアンチタイブとなりフロントシャーシ下面の底付きが軽減できます。

**■ ダウンストップ**

フロントサスペンションロック下に3ミリのスペーサーを入れた状態で基本ダウンストップは8ミリとなります。  
ダウンストップを減らしていくとリバウンドが増えパワーでのフロントの入りが良くなります。  
フロント車高調整は基本的にはフロントサスペンションロック下のスペーサーの厚みで調整します。

**■ フロントダンパー**

フロントダンパーオイルは硬くしていくとシャーシ下面の底付きが少なくなりフロントロールスピードも遅くなります。

**■ フロントセンタースプリング**

ローダック路面で良い効果が得られるセンタースプリングでは、フロントサイドスプリングを取り外して使用します。フロントロールが増える方向になり、マイナードなステアリング特性となります。

1／12 YOKOMO R12をセッティングしていくうえで、最初にリヤグリップの曲がりを調整していくと良い結果が得られます。

**メモ／Notes****■ フロントサイドスプリング**

ハイグリップ路面で良い効果が得られるフロントサイドスプリングはフロントセンタースプリングを取り外し、フロントサイドスプリングのみとします、ロールが少なくなりクイックな特性が得られます。

**■ 車高**

前後車高は水平が基本となりますが、グリップの高いコースではフロント上かりでのセットもあります。  
グリップの高いコースでは3ミリが基本となりグリップが低いコースでは3.5ミリから4ミリに車高を調整します。

**■ リヤサイドスプリング調整**

リヤサイドスプリングの調整は基本、締め付け量0ミリからスタート、ロアプレースを左右にロールさせたときに均等に戻るように調整してください。

**■ ロールダンパー**

ロールダンパーオイルを硬くしていくとリヤグリップが増す方向になります。

**■ ピッチングダンパー**

ピッチングダンパーオイルを硬くしていくとリヤグリップが増します。  
アスファルト路面では硬くしていく方向となり、カーベット路面ではやわらかしていく方向となります。

AS A MANUFACTURER OF WORLD CHAMPIONSHIP WINNING CARS,

YOKOMO WILL CONTINUE TO PROVIDE THE BEST AVAILABLE TECHNOLOGY TO R/C ENTHUSIASTS ALL OVER THE WORLD.  
ENJOY THIS PRODUCT KNOWING THAT YOU ARE DRIVING ONE OF THE BEST HANDLING R/C CARS EVER DESIGNED.



#### 世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用 R/C カー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そして R/C カーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界の R/C カーマニアに愛用されています。